

兵庫県 の 地震 活動

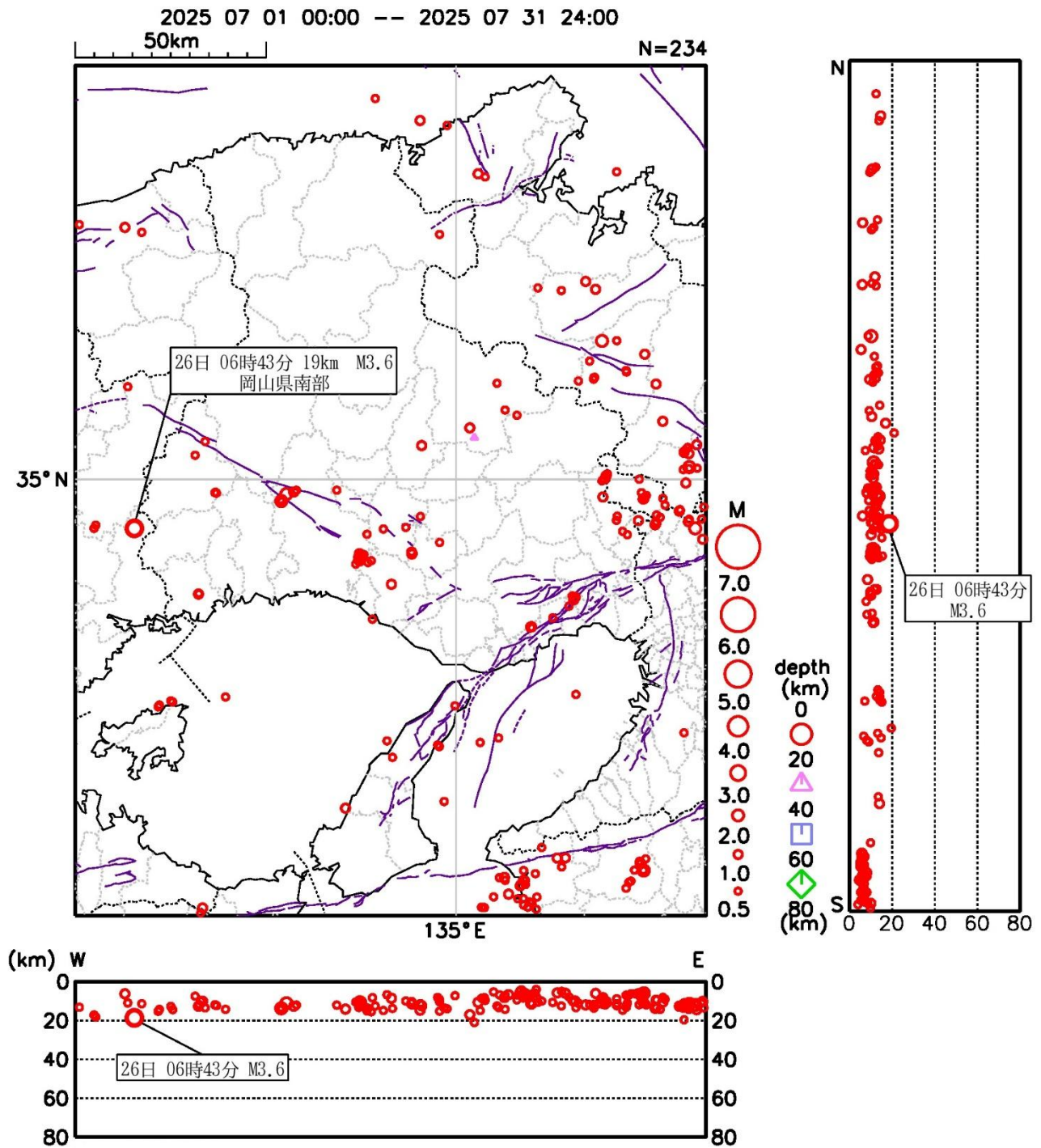
2025 年（令和 7 年） 7 月

震央分布図・断面図・・・・・・・・・・・・・・・・	1
概況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図・・・・・・・・	3
一口メモ	
火山防災とは・・・・・・・・・・・・・・・・	4

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸 地方 気 象 台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図

注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 7月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を1回観測しました。

26日06時43分 岡山県南部の地震（深さ19km、M3.6）により、上郡町、佐用町で震度2を観測したほか、豊岡市、朝来市、姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市で震度1を観測しました。

30日08時24分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖でMw8.8の地震（注1）（Mwは気象庁による）が発生しました。この地震により、岩手県の久慈港（注2）で1.4m（速報値）など、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測しました。

兵庫県では、同日9時40分に瀬戸内海沿岸と淡路島南部に津波注意報を発表し、翌日31日10時45分に津波注意報を解除しました。

（注1）断層のずれの規模をもとにして計算したマグニチュード

（注2）国土交通省港湾局の観測施設

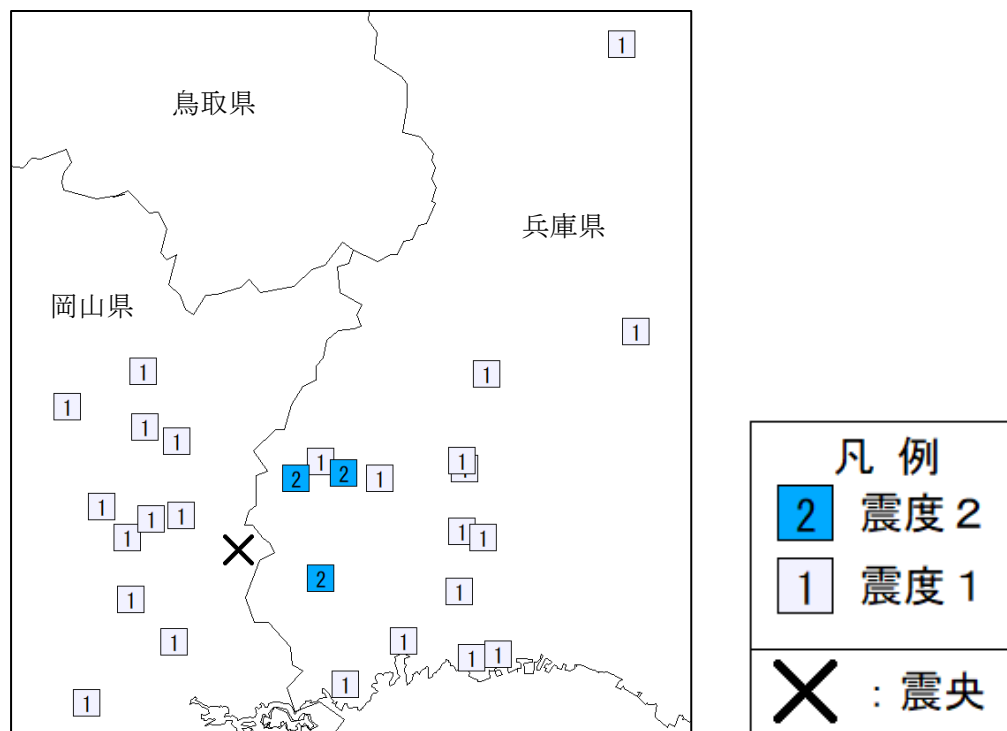
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
7月26日 06時43分	岡山県南部	34°54.3'	134°14.6'	19km	M3.6	震度2
震度2：上郡町大持＊、佐用町上月＊、佐用町下徳久＊						
震度1：豊岡市日高町＊、朝来市生野町＊、姫路市網干＊、姫路市林田＊、相生市旭、赤穂市加里屋＊						
佐用町佐用＊、佐用町三日月＊、宍粟市山崎町中広瀬、宍粟市山崎町船元＊、宍粟市一宮町＊						
たつの市龍野町＊、たつの市新宮町＊、たつの市御津町＊						

震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。
 なお、＊印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

7 月 26 日 06 時 43 分に発生した、岡山県南部の地震の震度分布図（観測点震度）。



8月26日は「火山防災の日」です。

令和5年（2023年）、活動火山対策特別措置法（活火山法）の一部が改正され、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、明治44年（1911年）、浅間山にて日本で最初の火山観測所が設置され、観測が始まった日である8月26日を「火山防災の日」に制定しました。

火山がいつ、どのくらい噴火するかを予測することは難しいです。そのため普段からの備えや事前の速やかな避難が重要となってきます。兵庫県に活火山はありませんが、旅行などで火山の近くに行くことがあるかもしれません。以下を参考に、火山災害から自分の身を守る備えをしましょう。

火山災害から身を守るには

1. 「火山防災マップ」という各市町村で作っている地図を見て、「噴火警戒レベル」に対応する危険な場所を確認しておきましょう。
2. あらかじめ、避難する場所や、そこまでの道順を確認しておきましょう。
3. 気象庁の発表する「噴火警報」などの情報や、「噴火警戒レベル」に注意しましょう。
4. 噴火のおそれがある場合には、危険な地域では事前の避難が必要です。地元の市町村の指示があった場合には、それに従いましょう。

噴火警戒レベル

噴火警戒レベルとは火山ごとに設定されており、警戒が必要な範囲ととるべき防災対策を火山活動に応じて5段階で発表するものです。日本には111の活火山があり、噴火警戒レベルはその中で常時観測火山である50火山のうち49火山で運用されています。

種別	名称	対象区域	噴火警戒レベルとキーワード
特別 警 報	噴火警報 (居住地域)	居住地域 と	噴火警戒レベル5 避難 (危険のある地域にいる人は全員避難)
	又は 噴火警報	それより火口側	噴火警戒レベル4 高齢者等避難 (避難の準備！高齢者等の要配慮者は避難！)
警 報	噴火警報 (火口周辺)	火口から 居住地域の近くまで	噴火警戒レベル3 入山規制 (山に近寄ってはダメです！)
	又は 火口周辺警報	火口のまわり	噴火警戒レベル2 火口周辺規制 (火口に近寄ってはけません！)
予 報	噴火予報	火口の中など	噴火警戒レベル1 活火山であることに留意 (火口付近では気をつけよう！)

火山防災とは、火山で起こる現象が、人々の暮らしや命に被害を与えることを防ぐことです。火山で日々起きている現象は、必ずしも常に被害を与えるわけではありませんが、それが通常より活発になった場合には、被害を防ぐための行動をとらなければなりません。

そしてこれらの火山災害は、発生してから被害を与えるまでの時間が非常に短く、起きてから調べて行動するのは間に合わないことがとても多いです。そのため事前に「どこが危険なのか」「危険な時の情報をどうやって入手するか」「危険な時はどう行動するか」を知っておくことが大切です。

▼関連リンク

気象庁ホームページ「火山防災の日」特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>

気象庁ホームページ「火山防災の日」とは？

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/02_shoukai.html

気象庁ホームページ「火山災害から身を守る」

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/12_kazan_bosai.html

気象庁ホームページ「噴火警戒レベルの説明」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/level_toha/level_toha.html